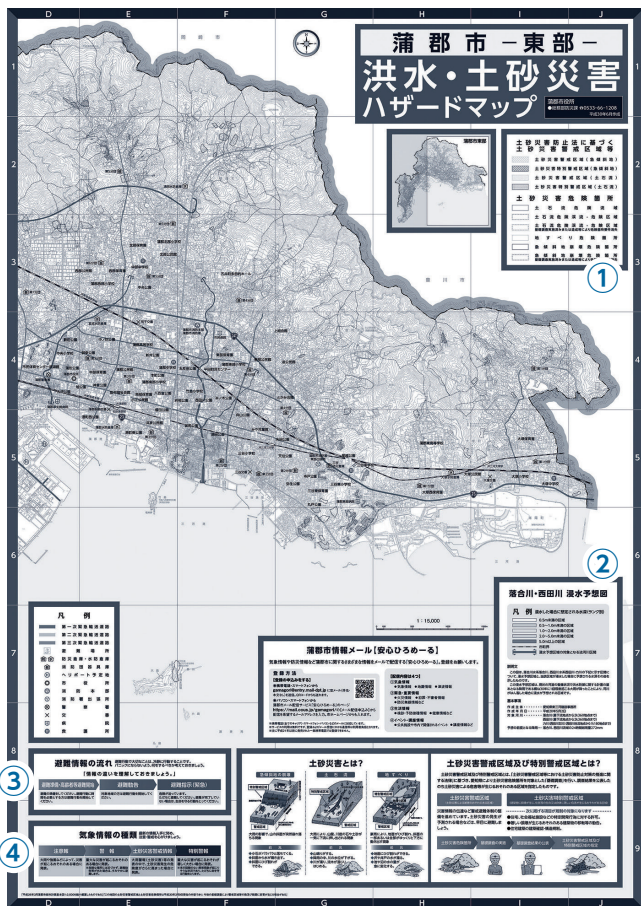


ハザードマップ



土砂災害警戒区域を調べてみよう！

ハザードマップには、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等・土砂災害危険箇所（左図①）を記載しています。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域とは、土砂災害防止法に基づき実際に基礎調査を行った結果、土砂災害の恐れがあると認められた場所を指定したものです。それぞれ、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりといった土砂災害の種類ごとに区域の指定があります。土砂災害の特別警戒区域に指定

されると、その土地に新しく建物を建築する場合は、建築規制がかかってきます。

土砂災害危険箇所は、土砂災害の恐れがある場所を地形図から想定したものです。

洪水は落合川・西田川だけではない！

落合川・西田川の浸水予想図（左図②）は、二つの河川について、24時間の総雨量272ミリを想定しています。最大1～2メートルの浸水が予想されています。

落合川・西田川以外にも市内には多くの中小河川があります。ハ



このマークが目印！

ハザードマップには避難場所の位置が表示してあります。お住まいの地域ではどのような危険があるのかを把握し、避難経路を確認してください。

避難場所を確認しよう！

ハザードマップには、落合川・西田川以外の中小河川について浸水予想は記載していませんが、ほかの中小河川は洪水の心配がないという訳ではありません。

浸水予想が掲載されていない理由は、まだ調査が終わっていません。

浸水予想が存在しないためです。全ての中小河川について、落合川・西田川と同様に洪水の心配がある

と思ってください。



伊勢湾台風で三谷漁港岸壁に乗り上げた県警備船

今すぐ実践！

避難経路と非常持ち出し品をチェックしよう！

避難経路は、移動距離の長さだけでなく、いかに安全に移動できるかがポイントです。浸水の恐れがある場所なるべく避け、見通しのいい道を選びましょう。

非常持ち出し品については、少なくとも3日間分の食料や日用品を用意しておきましょう。また、使い慣れた枕やマッサージ器具など、自分に合ったストレス解消グッズを用意するといいかかもしれません。

